

事業実績報告書

1 事業実施内容

(1) 医師のキャリア形成支援に関すること

2017年より開始される新専門医制度への対応を行う。

(2) 上記に付帯する業務

1) プログラム作成に関するアドバイス

プログラムの作成にあたり、各病院各科の作成段階において、プログラム作成の仕方などを教育的観点からアドバイスする。

2) 専門医プログラムの地域との連携促進

2017年より開始される新専門医制度においては、長崎大学が中心となると予想されるが、大学と地域の連携が重要である。地域と連携するようなプログラムの作成を推進する。

3) その他

広報など

2 事業の成果・効果

長崎県全体で〈長崎県後期研修プログラム〉を整備した。県内の教育病院に働きかけ、プログラムの作成を促した結果、県下では、長崎大学病院、長崎医療センター、佐世保総合病院、上戸町病院、平戸病院、長崎県上五島病院の6病院が新専門医制度下での合計28の専門医プログラムを作成した。

種類としては、基本領域19診療科のうちリハビリテーション科を除く18診療科のプログラムを構築した。そのうち17診療科（内科、小児科、皮膚科、精神科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査、救命救急センター、形成外科）がプログラム申請を行い、プログラムの認定審査に入った。残りの1診療科（総合診療科）は、申請のため整備を行っており、期日までに申請を行う予定である。

しかしながら、新専門医制度の延期の可能性もあり、その対応も今後必要となる。

(1) プログラム作成に関するアドバイス

長崎大学病院においては、7月下旬から11月上旬に長崎大学病院18診療科（内科ハブセンター・外科ハブセンター・小児科・皮膚科・精神科・整形外科・産科婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・脳神経外科・放射線科・麻酔科・病理診断科・検査部・救命救急センター・形成外科・総合診療科）と面談を行い、連携予定施設、募集人数などのヒアリングを行った。その際、若手医師にとって魅力的なプログラムを作成するように個別にアドバイスした。他の病院のプログラム作成においても、適宜アドバイスを行った。

(2) 専門プログラムの地域との連携促進

プログラムの作成の際に、県内のへき地や離島を教育関連施設へ入れるようにアドバイスをを行った。また、長崎県病院企業団と長崎県病院企業団に所属する若手医師に関する専門医修得に関わる問題点等の協議を行った。これにより、ほぼ全プログラムに、県内の地域や離島の病院を関連施設とすることに成功した。

(3) その他（広報など）

①医学生や研修医に対する、医師のキャリア形成のための講演会および新・専門医制度に関する講演会を（新鳴滝説明会、内科ハブセンター説明会、外科ハブセンター説明会）を行い、各科のプログラム説明会でも、補足説明をおこなった。

②日本専門医機構と基本19領域に関する学会等の方針をホームページ等から情報収集を行い、長崎県内の専門医プログラムをホームページで周知した。